

# 視察研修報告 産業建設常任委員会

(期間) 7月21日～23日

(目的及び視察地)

○中心市街地活性化

(福島県白河市)

○議会活性化検討特別委員会

(栃木県那須塩原市)

○ふるさと便

(栃木県矢板市)

白河市は、平成21年3月に中心市街地活性化基本計画が認定され、26年度までに区域約106ha、ハード・ソフト51事業、



▲栃木県矢板市での研修

総額68億円の事業に取り組まれている。それぞれの数値目標、主要事業が具体的に年度別に示されている。さらに年度ごとの進捗状況を検証されていた。市民の参加と盛り上がりは、見習うべきものと思われる。

那須塩原市は、平成19年4月、議会運営のあり方など議会活性化全般について、調査・検討をする特別委員会が設置された。小城市議会においても、今後活性化に向け、取り組む問題だと思ふ。

矢板市は、市と農協で平成7年、財団法人矢板市農業公社を設立され、農産物宅配が行われている。「ふるさと便」は年4回、7月お中元・9月新米便・12月お歳暮便・3月春便。10000便限定販売されている。

# 視察研修報告 総務常任委員会

(期間) 7月27日～29日

(目的及び視察地)

○すぐやる課

(東京都世田谷区)

○テレビ広報

(東京都府中市)

世田谷区は人口83万5千人。総世帯数43万5千世帯で佐賀県並みの規模。お役所仕事のたらい回しと批判されがちな行政

体質の改善を目的として平成15年に区長の公約で設置。毎年7千件以上の相談受付・出勤回数3千件。「迅速な対応」「区民の視点に立った対応」「責任ある対応」の基本理念で早期解決に努めており市民に大変喜ばれている。

課長は1番若い課長を担当させ1年で交替。係長は2年で交替。新採はすぐやる課に配置し区民とのコミュニケーションを持たせ、区域を知る為に非常に役立っている事



▲東京都世田谷区での研修

で、小城市でも取り組む必要があると思ふ。

府中市のテレビ広報はケーブルテレビを活用し、市民への広報活動をより拡充したもので、毎日15分番組で午前9時、12時、

午後8時の3回。広告も一枠15秒、5万円を取り

入れている。「広報力は経営力なり」で取り組まれている。小城市には今後の課題である。